

氏名	本 莊 智 康
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 3451 号
学位授与の日付	平成19年6月30日
学位授与の要件	医学研究科外科系耳鼻咽喉科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Comprehensive LOH analysis and identification of a novel hotspot at 3p21 in salivary gland neoplasms (唾液腺腫瘍におけるヘテロ接合性の消失解析及び3p21における新規ホットスポットの同定)
論文審査委員	教授 谷本 光音 教授 吉野 正 准教授 大内田 守

学位論文内容の要旨

2つの主要な癌関連遺伝子である癌遺伝子 (Oncogene)と癌抑制遺伝子 (Tumor Suppressor Gene) は、発癌のプロセスに関与していると考えられている。しかし、この遺伝子群が良性腫瘍に関与しているかどうかはいまだ不明である。ゲノム DNA の欠失を高感度に検出するヘテロ接合性の消失解析 (LOH: Loss of Heterozygosity) は、癌抑制遺伝子候補の検索に有用である。今回我々は唾液腺良性及び悪性腫瘍の LOH 解析を行って、関与される癌抑制遺伝子を同定してみた。

症例としてインフォームドコンセントを得た岡山大学医学部腫瘍バンクに保存されている唾液腺腫瘍 (良性腫瘍 20 例及び悪性腫瘍 6 例) を使用した。また手術の際に得られた正常組織をコントロールとして使用した。

腫瘍組織及び正常組織より、フェノールクロロフォルム法によって抽出した DNA を鋳型とし、26 のマイクロサテライトマーカーを PCR で増幅し、電気泳動を行い、銀染色にて DNA を検出、LOH 解析を行った。

高頻度の LOH は D3S1307(22%, 3p26)、D3S966(41%, 3p21)、D6S255(27%, 6q25)、D8S166(25%, 8q12)、D8S199(21%, 8q24)、D10S1765(28%, 10q23) の部位で検出された。

今回、唾液腺腫瘍で様々な染色体部位において高頻度の LOH が検出されたので、一つ以上の癌抑制遺伝子はこの腫瘍群に関与していると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は唾液腺腫瘍におけるヘテロ接合子の消失 (LOH) 解析により、3p21 領域に LOH が集中していることから、比較的良性と考えられている本腫瘍において新規の癌抑制遺伝子の関与を示唆する知見を得たものとして価値ある業績と認めます。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。

審査概要:

審査時に提出された資料に一部不鮮明な点があり、投稿論文で解析結果を確認して審査を行なった。